

134 小田急遅延の謝罪状 一九二七年四月五日

【読み下し文】

拝啓、陳ぶれば益御清榮賀し奉り候。先般来小田原急行開業に關し多忙を極め、意外の御疎遠謝し奉り候。然るに同電車も愈々四月一日より開通致し候。処、開業の当日より三日の神武天皇祭迄は遅延勝ちにて、乗客に対し実に氣の毒の思ひを致し申し候。尤も新宿・登戸間は当初より予定の通り運轉出来申し候。昨四日よりは全線総て予定通り運轉を實行致し申し候。大体に於て最早安心と存じ奉り候。当初より最善の注意は払ひ居る次第に候。得共、延着等の事故を生ぜしは遺憾の至りにて、小生も只管恐縮致し居り申し候。重傷其の他生命に關する不祥事を發生せざりしは天佑と存じ奉り候。兎も角開業の初めに方り重役諸氏にも御心配相掛け候儀、重ね重ね恐縮に御座候。何れ近々御集會相願ひ詳細御報告申し上げべき心組には候え共、取り敢えず大略書中を以て貴意を得候。

敬具

四月五日

利光鶴松

村野常右衛門殿